

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 3 日

奈良市長 殿

提出者

住所 奈良市法華寺町264番地1

氏名 奈良市企業局

奈良市公営企業管理者 増田 聡
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0742-34-5200



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	排水処理施設(緑ヶ丘浄水場)
事業場の所在地	奈良市奈良阪町(緑ヶ丘浄水場)
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) 水道業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 汚泥排出量 1868t (令和7年度実績)
③ 従業員数	147 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排水池 → 排泥池 → 加圧脱水 → 汚泥ケーキ(産業廃棄物)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

奈良市企業局 送配水管理センター管理第1係 山本



株式会社日本メンテナンス 総括 安岡氏



株式会社日本メンテナンス 副総括 高野氏



株式会社日本メンテナンス 廣瀬氏

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	1,868.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	1,868.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥のみ
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥のみ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,706.0 t	t
	① 現状		
	（これまでに実施した取組） 浄水過程で発生した汚泥を有価物として民間業者に売却		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,868.0 t	t
	② 計画		
	（今後実施する予定の取組） 浄水過程で発生した汚泥を有価物として民間業者に売却予定		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	t
	① 現状		
（これまでに実施した取組） 中間処理は行っていない。			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	t
	② 計画		
（今後実施する予定の取組） 中間処理を行う予定は現時点ではない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	埋め立て処分、海洋投入処分は実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	埋め立て処分、海洋投入処分の計画は現時点ではない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	162.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	大阪湾広域臨海環境整備センターに産業廃棄物の処理委託を実施しました。		

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	
		全処理委託量	0.00 t	t
② 計画		優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	t
		再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託の計画は現時点ではありません。				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	奈良市企業局	担当者氏名	山本 哲也
報告者所属部署	事業部送配水管理センター	電話番号	0742-22-6456

産業廃棄物の種類	実績 計画	(第2面)				(第3面)		(第4面)		(委託先の区分ごとの処理委託量) (第4～5面)			
		排出量	自ら再生利用を 行った量	自ら熱回収を 行った量	自ら中間処理に より減量した量	全処理委託量 (自動計算)	優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の 熱回収業者			
1 汚泥	前年 実績 計画	1,868.00t 1,868.00t	1,706.00t 1,868.00t	0.00t 0.00t	0.00t 0.00t	162.00t 0.00t	0.00t 0.00t	0.00t 0.00t	0.00t 0.00t	0.00t 0.00t			
2	前年 実績 計画												
3	前年 実績 計画												
4	前年 実績 計画												
5	前年 実績 計画												
6	前年 実績 計画												
7	前年 実績 計画												
8	前年 実績 計画												
9	前年 実績 計画												
10	前年 実績 計画												

(別紙)